

筑波大学新聞

第372号

編集責任
筑波大学新聞
編集委員会

TEL・FAX 029(853)6699

E-mail
shinbun@
un.tsukuba.ac.jp

発行所
筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

注目記事

- 避難学生向け日本語コース開講
- Bombs! ユニドル悲願の優勝
- 陸上高良大会新と自己新で優勝
- 県と大学 性的少数者への取り組み
- カスミ 春日エリアに無人店舗設置

特集

- 大学初ホームゲーム 6・7
- TSUKUBA LIVE! に密着
- ミニ特集
- 「大学なのか、森なのか」 3
- キャンパスの自然・生き物再発見

ウクライナの学生 11 人来日 「母国の将来 より良くしたい」



永田学長を表敬訪問したウクライナ人学生ら（9月9日、本部棟で）=寺尾優汰撮影

筑波大は、ロシアの軍事侵襲で学びの場を失ったウクライナ人学生の受け入れを進めている。第一期として受け入れが決まっていた20人のうち11人が9月21日まで、特別聴講生として来日した。同日には10人が永田泰介学長及び関係副学長を表敬訪問し、国際総合学類のキリリク・アンドリーさんが「一連の支援に大変感謝している」と謝意を述べた。（寺尾優汰比較文化学類3年、車谷郁美社会学類3年、2面に関連記事、4面に記者の声、12面に関連写真）

筑波大はウクライナからの避難学生約50人を受け入れる予定で、今年6月に第一期の20人を決定。7月に2人、8月に7人、9月中旬に2人が来日し、同月下旬にも1人が来日予定だ。表敬訪問では、永田学長が学生らに「私たちは皆さんの味方だ。できることは何でも支援する」と語りかけた。筑波大にはロシア人学生も多く在籍していることにも触れ「彼らと同じ学生で今回の戦争への責任を負うべきではない」と話した。アンドリーさんは「私たちができることを一杯頑張りたい」と答えた。学生交流課によれば、避難学生は茨城県から無償で提供を受けた筑波大近くの県営住宅に入居している。日常生活で使う家具や家電も、茨城県内の企業が提供してくれたという。また、第二期では特別聴講生10人と研究生10人の計20人の受け入れも決まった。受け入れ先と人数は▽人文・文化学群2人▽社会学群4人▽生命科学環境学群1人▽情報学群1人▽医学群1人▽芸術専門学群1人▽人文社会科学学群3人▽人間総合科学研究群6人▽数理物質科学研究群1人。9月中の入学に向けて、入学許可書を送付し、入学支援を行っていることなどという。

60歳の男性の出国に政府の特別許可が必要だ。審査が厳しく、国境通過に時間がかかっている学生が多いという。第一期の20人で来日していない9人のうち男子学生5人を含む8人については入学のめどが立っていない（9月21日時点）。

双峰祭

学外者も来場受け入れ 人数上限は5000人を維持

11月5、6日開催の第48回筑波大学学園祭（双峰祭）は、学外者の来場者も受け入れる方向で調整が進んでいる。学園祭実行計画書は10月下旬に最終決定予定で、実現すれば3年ぶりの対面開催となる。

これを受け、学実委と大学は感染対策を検討。来場を事前予約制とし、当日はリストバンドを配布して来場者を管理する。また、検温・手指消毒、室内の換気の徹底などの対策を取ること、学外者も受け入れられる見通しが立った。来場者の1日の上限は5000人を維持する方針だ。

パートナーシップ制度

佐賀と協定 県レベルは初 大井川知事「茨城が全国の核に」

茨城県は8月18日、性的少数者のカップルを公的に認める「パートナーシップ制度」で、佐賀県と連携協定を結んだ。都道府県間の協定は全国初。茨城県は2019年7月、他の都道府県に先駆けて同制度を導入するなど、性的少数者に関する取り組みを重視してきた。今後、どのような対応を進めるのか。大井川和彦知事が本紙の取材に応じた。（天野隼太比較文化学類3年、後藤佳博社会学類4年、高元愛香心理学類2年、10面に関連記事）

負担が軽減された。本紙の取材に対し、大井川知事は「性的少数者の人権保障には、法に基づく国の制度の見直しが必要だ。しかし、時間がかかるので、自治体からの動きで大きな流れを作ろうと考えた。近いうちに国政にも影響を与えよう期待する」と制度導入の意図を語った。

大井川知事は市区町村、都道府県を問わず同制度を持つ全ての自治体との包括的な連携を目指している。「一度宣誓すればどこでも制度が適用される仕組みにしたい。茨城県が核となり、今回の佐賀県との協定を皮切りに、他県ともスピード感を持って連携していきたい」と意気込んだ。

「いばらきパートナーシップ宣誓制度」では、県が発行した宣誓の受領カードを提示すると、公営住宅の入居や県立病院での手術同意などの際に、婚姻関係があるカップルと同等に扱われる。民間企業にも協力を呼び掛けている。生命保険の受取人指定やカップル

性の多様性 SOGI/LGBT+

同制度は他の自治体に引越すすると無効になり、再申請にも手間がかかる点が課題だった。このため大井川知事は7月の全国



「茨城県が核になりたい」と話す大井川知事（9月14日、茨城県庁で）=高元愛香撮影

間で引越す場合の利用者

間でも協力を進めるとい



対面で開催されていた2019年の双峰祭は模擬店でにぎわった = 本紙編集部撮影

対面では、石の広場に設置する屋外ステージでの発表と各教室での展示や調理企画を実施する。同時開催のオンライン企画では、参加団体が事前に収録した演奏・公演の動画配信や物品販売をする。学実委委員長の青木颯汰さん（工学2年）は「双峰祭は筑波大の一大イベントだ。盛り上がりは、地域住民の皆さんと学外の参加もあってこそだと思う。学生が力を注いだ発表や展示を多くの方に見ていただき、復活した双峰祭を楽しんでほしい」と話した。（及川千翔人文学類3年

避難学生向け 夏季日本語コース開講 「日本語難しいが、頑張りたい」



現代日本社会についての講義を受けるウクライナ人学生ら(9月12日、大会館で) = 車谷郁実撮影

【一面参照】ウクライナからの避難学生向けに筑波大は8月3日、日本語コースを開講した。日本語教育を学ぶ大学院生や研究生10人が講師を務め、9月末までの平日、日本語の読み書きや会話の指導をしている。初めて日本語を学んだという人文学類のイェルモライエヴァ・ハンナさんは「自分がいる国の言語を知ることが大切だと思う。日本語は難しいが、頑張りたい」と話した。(加藤緑 生物学類1年、車谷郁実)

「1面参照」ウクライナからの避難学生向けに筑波大は8月3日、日本語コースを開講した。日本語教育を学ぶ大学院生や研究生10人が講師を務め、9月末までの平日、日本語の読み書きや会話の指導をしている。初めて日本語を学んだという人文学類のイェルモライエヴァ・ハンナさんは「自分がいる国の言語を知ることが大切だと思う。日本語は難しいが、頑張りたい」と話した。(加藤緑 生物学類1年、車谷郁実)



ウクライナでの生活や今後の展望を語る学生ら(9月6日、大会館で) = 加藤緑撮影

「明日誰が生き残るか分からない」
ウクライナで生活する学生ら。8月に来日するまでの2週間、私もそれを体験した。明日、誰が生き残るか分からない状況の中、地下室にベッドを運んで眠った。家族はまだ現地にいますと振り返る。

「明日誰が生き残るか分からない」
ウクライナで生活する学生ら。8月に来日するまでの2週間、私もそれを体験した。明日、誰が生き残るか分からない状況の中、地下室にベッドを運んで眠った。家族はまだ現地にいますと振り返る。

「明日誰が生き残るか分からない」
ウクライナで生活する学生ら。8月に来日するまでの2週間、私もそれを体験した。明日、誰が生き残るか分からない状況の中、地下室にベッドを運んで眠った。家族はまだ現地にいますと振り返る。

「明日誰が生き残るか分からない」
ウクライナで生活する学生ら。8月に来日するまでの2週間、私もそれを体験した。明日、誰が生き残るか分からない状況の中、地下室にベッドを運んで眠った。家族はまだ現地にいますと振り返る。

「明日誰が生き残るか分からない」
ウクライナで生活する学生ら。8月に来日するまでの2週間、私もそれを体験した。明日、誰が生き残るか分からない状況の中、地下室にベッドを運んで眠った。家族はまだ現地にいますと振り返る。

全入試で国籍指定外す

共テ利用は「情報I」必須

25年度入試から

筑波大は7月28日、令和4(2022)年度入学試験(25年4月入学及び秋入学)の変更点を発表した。全ての入試で国籍にとらわれない出願資格を設定し、外国の学校で教育を受けた学生の募集を拡大する。また、今年度の高校入学者から適用が開始された学習指導要領に対応し、大学入学共通テストを利用する入試で「情報I」を全員に課す。

筑波大では現在、外国籍とした入試がある。25年度入試からは、これを改め、全ての入試で国籍の定めをなくす。多様な学生を受け入れ、国際社会で活躍できる人材の育成を更

また、「情報I」の導入にあたり、25年度入試では浪人生への影響の大きさを考慮し、配点を低くするなど対応を検討している。大学入試センターは25年度入試に限り、浪人生向けに「旧情報I」を出題することを決めており、筑波大の志願者も「情報I」の代わりに選択できる。

また、「情報I」の導入にあたり、25年度入試では浪人生への影響の大きさを考慮し、配点を低くするなど対応を検討している。大学入試センターは25年度入試に限り、浪人生向けに「旧情報I」を出題することを決めており、筑波大の志願者も「情報I」の代わりに選択できる。

オンライン合わせ9000人参加 大学説明会 3年ぶり対面

受験生のための筑波大学説明会が8月6、7、11日の計3日間、3年ぶりに対面開催され、進学を希望する高校生ら延べ3500人

面開催され、進学を希望する高校生ら延べ3500人がキャンパスを訪れた。オンライン企画も合わせた。延べ8862人が参加した。

模範講義では3学類の担当教員が1人ずつ登壇した。そのうち心理学類では



二階建ての建物(ウクライナ)が爆撃によって破壊された様子(ウクライナ)の提供



筑波大生に構内を案内される高校生ら(8月11日、石の広場で) = 及川千翔撮影

INNOFES テクノロジーと音楽の祭典 J-WAVE INNOVATION WORLD FESTA 2022 18-21 Fri. 22 Sat. 23 Sun. at ROPPONGI HILLS テーマは「Web3」 METaverse・NFT・ROBOT・AI 未来を奪え3日間! チケット先行予約受付中!

INNOFES テクノロジーと音楽の祭典 J-WAVE INNOVATION WORLD FESTA 2022 18-21 Fri. 22 Sat. 23 Sun. at ROPPONGI HILLS テーマは「Web3」 METaverse・NFT・ROBOT・AI 未来を奪え3日間! チケット先行予約受付中!

イノフェス今年も開催 新世界の始まり 技術と音楽で テクノロジーと音楽で日本をイノベーション! をコンセプトにした「J-WAVE」イノベーションワールド フェスタ2022(イノフェス)が10月21・23日、六本木ヒルズアリーナ(東京都港区)など3会場で開催される。F.Mラジオ局のJ-WAVEと筑波大の共催で、拡張現実(AR)など映像技術を用いたアーティストのライブや、有識者が最新テク

イノフェス今年も開催 新世界の始まり 技術と音楽で テクノロジーと音楽で日本をイノベーション! をコンセプトにした「J-WAVE」イノベーションワールド フェスタ2022(イノフェス)が10月21・23日、六本木ヒルズアリーナ(東京都港区)など3会場で開催される。F.Mラジオ局のJ-WAVEと筑波大の共催で、拡張現実(AR)など映像技術を用いたアーティストのライブや、有識者が最新テク

Bombs! 悲願の優勝

集大成のステージに虹かける

大学対抗女子大生アイドル「Bombs!」が会場観客投票、オンライン観客投票、審査員の評価点の全てで1位となり、全国53チームの頂点に立った。Bombs!は五つの審査項目のうち、ダンスと表現力の合計点が最も高いチームに送



18人それぞれの色でステージに虹をかけた(8月21日、NHKホールで)

られるベストパフォーマンスも受賞した。Bombs!は決勝の参加チームで最多の18人が登場。「Bombs!」の口ゴ入りの白スカートにジャケット姿で登場し、持ち時間8分、「Jewels」(仮面女子)、「ありえんほどライバー」(i☆Ris)、「JAPANAFLIGHT」(JAPANA RIZM)、「NIJIIRO ROAD☆」(SUPER☆GIRLS)の4曲を披露した。

「夏」をテーマに開催 筑波大吹奏楽団の第87回定期演奏会が8月24日にバホール(つくば市吾妻)で開かれた。テーマは夏。約400人の聴衆が2時間にわたり、夏らしい10曲の

演奏を楽しんだ。第一部は「サーカスハットマーチ」(奥本伴在作曲)で明るく暑さを感じ、海の静けさを醸し出し、雄大な曲を表現した全3楽章の大作「BLUE HORIZONS」(フランコ・チェザリーニ作曲)などを披露した。

幅広い層に知られる曲をそろえた第二部では、「千と千尋の神隠し」(ハイライト)、「久石譲作曲」や、野球応援の定番曲「JABBERLOOPY」(岸本ナズマ)、「シロクマ」(岸本亮作曲)などを奏でた。「千と千尋の神隠し」の登場人物の衣装を着た指揮者や、

野球場をかぶり、タオルを肩に掛けて野球場の観客に扮した団員が会場を盛り上げ、カラフルな照明で観客を魅了した。指揮を務めた櫻井陽さん(知識3年)は「今年は新入生が54人と例年より多く入団し、楽器ごとの音量の調整が難しかった。本番では指揮台から団員の楽しそうな表情が見え、うれしかった」と話した。(太田碧川芸術専門学群2年、12面に関連写真)

フィルム映画上映会

1970～80年代に思いはせる

筑波大で制作されたフィルム映画を上映する「筑波大学フィルム映画上映会」が8月28、29日に6A棟で開かれ、延べ28人が来場した。1970～80年代に筑波大生が自主制作した映画

を上映されたのは、筑波大を舞台に女子学生の恋愛模様や友情を映した作品などで、石原さんが卒業生から集めた。筑波大やその周辺の映像もあり、2000年まで天久保にあったジャズ喫茶や古いバス停、今と同じ5C棟の外観などが観客を引き付けた。フィルム映写機を使っての上映では、

上映されたのは、筑波大を舞台に女子学生の恋愛模様や友情を映した作品などで、石原さんが卒業生から集めた。筑波大やその周辺の映像もあり、2000年まで天久保にあったジャズ喫茶や古いバス停、今と同じ5C棟の外観などが観客を引き付けた。フィルム映写機を使っての上映では、

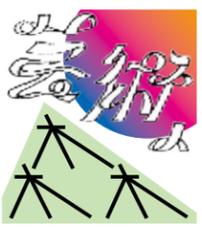
上映されたのは、筑波大を舞台に女子学生の恋愛模様や友情を映した作品などで、石原さんが卒業生から集めた。筑波大やその周辺の映像もあり、2000年まで天久保にあったジャズ喫茶や古いバス停、今と同じ5C棟の外観などが観客を引き付けた。フィルム映写機を使っての上映では、

上映されたのは、筑波大を舞台に女子学生の恋愛模様や友情を映した作品などで、石原さんが卒業生から集めた。筑波大やその周辺の映像もあり、2000年まで天久保にあったジャズ喫茶や古いバス停、今と同じ5C棟の外観などが観客を引き付けた。フィルム映写機を使っての上映では、

上映されたのは、筑波大を舞台に女子学生の恋愛模様や友情を映した作品などで、石原さんが卒業生から集めた。筑波大やその周辺の映像もあり、2000年まで天久保にあったジャズ喫茶や古いバス停、今と同じ5C棟の外観などが観客を引き付けた。フィルム映写機を使っての上映では、

上映されたのは、筑波大を舞台に女子学生の恋愛模様や友情を映した作品などで、石原さんが卒業生から集めた。筑波大やその周辺の映像もあり、2000年まで天久保にあったジャズ喫茶や古いバス停、今と同じ5C棟の外観などが観客を引き付けた。フィルム映写機を使っての上映では、

上映されたのは、筑波大を舞台に女子学生の恋愛模様や友情を映した作品などで、石原さんが卒業生から集めた。筑波大やその周辺の映像もあり、2000年まで天久保にあったジャズ喫茶や古いバス停、今と同じ5C棟の外観などが観客を引き付けた。フィルム映写機を使っての上映では、



男声合唱団「メンネルコール」

青い法被を身にまとった8人の団員がアカペラで力強く、時にしっとりと低音を響かせる。背景に書かれた「め組」の文字は、江戸時代の町火消しと男声合唱団「メンネルコール」の頭文字をかけた趣向だ。8月24日にアルスホー

ル(つくば市吾妻)で開かれた「メンネルコール」のミニコンサート。公演は約20分間だったが、26人の観客は、濃密な時間を楽しんだ。

静まり返った真つ暗な会場に「エンヤーエンヤー」と声が響くと、舞台がぱっと明るくなった。幕開けは宮城県の舟漕ぎの民謡「斎太郎節」(竹花秀昭編)。「主旋律に重ねてエンヤオット」のフレーズ

が繰り返され、曲に軽快なリズムをつけた。2曲目「いざ起て戦人よ」(J. マクグラナハン作曲)は、賛美歌が原曲だが、曲調は行進曲のように。リズムカルなテンポの低い歌声が、優しく響いた。

3曲目はコンサートのメイン曲「はらへたまつてゆけ、かなしみ」。1937年に29歳で亡くなった詩人の八木重吉が、生前に唯一残した詩

集「秋の瞳」に収められた一作に、松下耕が曲をつけた。「かなしみはしづかにたまたま」というフレーズで静かに始まる。中盤に差し掛かると音量が徐々に強くなり、重厚な声色に緊張が高まっていく。「うらなへともゆくとらうもな

いゆえ」で最高潮に達すると、最後は「かなしみはしづかに」と閉じられた。団員が「乾杯!メンネルコール」で、四重奏のハーモニを響かせ、コンサートを美しく締めくくった。

代表の加藤正敏さん(物理3年)は「4、5人だった昨年度から団員が倍になった。一つのパートを2人で歌えるようになり、パート内でのハーモリなどできることも増えた。次の演奏会に向けてステップアップしていきたい」と話した。(山田優芽II比較文化学類3年、写真も)

マスク越しにも声を響かせる団員ら(8月24日、アルスホールで)

最後は「かなしみはしづかに」と閉じられた。団員が「乾杯!メンネルコール」で、四重奏のハーモニを響かせ、コンサートを美しく締めくくった。

代表の加藤正敏さん(物理3年)は「4、5人だった昨年度から団員が倍になった。一つのパートを2人で歌えるようになり、パート内でのハーモリなどできることも増えた。次の演奏会に向けてステップアップしていきたい」と話した。(山田優芽II比較文化学類3年、写真も)

代表の加藤正敏さん(物理3年)は「4、5人だった昨年度から団員が倍になった。一つのパートを2人で歌えるようになり、パート内でのハーモリなどできることも増えた。次の演奏会に向けてステップアップしていきたい」と話した。(山田優芽II比較文化学類3年、写真も)

代表の加藤正敏さん(物理3年)は「4、5人だった昨年度から団員が倍になった。一つのパートを2人で歌えるようになり、パート内でのハーモリなどできることも増えた。次の演奏会に向けてステップアップしていきたい」と話した。(山田優芽II比較文化学類3年、写真も)

代表の加藤正敏さん(物理3年)は「4、5人だった昨年度から団員が倍になった。一つのパートを2人で歌えるようになり、パート内でのハーモリなどできることも増えた。次の演奏会に向けてステップアップしていきたい」と話した。(山田優芽II比較文化学類3年、写真も)

代表の加藤正敏さん(物理3年)は「4、5人だった昨年度から団員が倍になった。一つのパートを2人で歌えるようになり、パート内でのハーモリなどできることも増えた。次の演奏会に向けてステップアップしていきたい」と話した。(山田優芽II比較文化学類3年、写真も)

代表の加藤正敏さん(物理3年)は「4、5人だった昨年度から団員が倍になった。一つのパートを2人で歌えるようになり、パート内でのハーモリなどできることも増えた。次の演奏会に向けてステップアップしていきたい」と話した。(山田優芽II比較文化学類3年、写真も)

代表の加藤正敏さん(物理3年)は「4、5人だった昨年度から団員が倍になった。一つのパートを2人で歌えるようになり、パート内でのハーモリなどできることも増えた。次の演奏会に向けてステップアップしていきたい」と話した。(山田優芽II比較文化学類3年、写真も)

代表の加藤正敏さん(物理3年)は「4、5人だった昨年度から団員が倍になった。一つのパートを2人で歌えるようになり、パート内でのハーモリなどできることも増えた。次の演奏会に向けてステップアップしていきたい」と話した。(山田優芽II比較文化学類3年、写真も)

代表の加藤正敏さん(物理3年)は「4、5人だった昨年度から団員が倍になった。一つのパートを2人で歌えるようになり、パート内でのハーモリなどできることも増えた。次の演奏会に向けてステップアップしていきたい」と話した。(山田優芽II比較文化学類3年、写真も)



『ミメシス』 エーリッヒ・アウエルバッハ著

北北海道には入学できず、札幌市の隣、今はすっかり観光地になった小樽市にある小樽商科大学に入学した。授業は適当にやり過ごし、軽音楽部で得意のベースを弾く気にもなれず、なんとなく入学した英語部で日々を過ごしていた。やがて勝ち負けがはっきりしているイベントにハマり、相手に勝つためのエビデンス(証拠)となる英語資料を山ほど読んでいた。原発が爆発したら人が〇万人死ぬから、お前の議論だと△千人しか死なないから俺らの勝ちといったような議論

チェルソフイリ原発事故(1986年)の2年後なので、こんな議論でもそれなりにリアルであった。イベントは英語力の向上に役に立ったのだが、論破の証拠を探すだけの読書を2年もやった普通は飽きる。私は飽きた。そこで英語で書かれた文学を読んでみた。まずは英語の教科書になっていたロアルド・ダールの短編集を英語で読み切った。次はチャールズ・ディケンズ「デヴィット・コパーフィールド」を読破。ペギン版で800ページ強。オレには才能があると思っただけなのに、ある英文学研究者向けのガイド

斎藤 一 准教授 (イギリス文学・文化理論) 人文社会系・准教授。筑波大学大学院文芸・言語研究科博士課程単位取得退学。博士(文学)。帯広畜産大講師などを経て、2009年より現職。

俳句 筑波大

「秋の雲」

・秋嶺(あきね)に向つてみんな煙めきぬ
・螺旋階段のぼれよのぼれ赤蜻蛉
・覚悟なく生きてる秋の雲だから

夏から秋になり、涼しくなると、空や風の雰囲気も変わってくる。高々と登んだ秋空に浮かぶ雲は、なんとも爽やかだ。「秋高し」(鱗雲)などの季節語もある。(島崎寛永II人文学類3年、写真も)

9月6日、つくば市桜で



筑波大初のホームゲームイベント TSUKUBA LIVE! に密着



筑波大アスレチックパートナーメント(AD)主催のホームゲーム「TSUKUBA LIVE!」第1回が8月7日に開催された。大学スポーツのモデルとなることを目指したイベントで、日本体育大を筑波キャンパスに招き、バスケットボールと水球の試合を行った。ハーフタイムには学生団体などがパフォーマンスを披露し、会場を盛り上げた。有志学生が運営にも携わり、筑波大を挙げてのイベントになった。ADは今後も継続して開催する予定だ。第1回の成果と課題を踏まえて。(細井真生 II 人文学類、天野隼太、寺尾優汰 II 比較文化学類、川上真生、小栗あおい II 社会学類、加藤緑 II 生物学類)

目指すは大学全体の盛り上がり

「TSUKUBA LIVE!」や胸の高まりを表した。観客には、夏らしい服装として白いドレスコードが推奨された。永田恭介学長も奮闘、文化を作る。試演、学生、教職員など延べ2200人が観客席から声援を送った。大学全体で盛り上がる全米大学体育協会(NCA)の所属大学が行っているようなホームゲームイベントを目指している。第1回のテーマは「Summer Tuun」が盛り上がった。夏のわくわく感があふれた。

プロジェクトが開始したのは昨年12月

プロジェクトが開始したのは昨年12月。運営チームは事務局・会場制作進行マーケティングの3部門で、当日参加した学生スタッフも含め、50人の学生が携わった。

実は、運営チームの学生カヒオ(つくば市竹園)で第1回の「TSUKUBA LIVE!」を開催予定だった。しかし、開催1週間前に参加予定者の新型コロナウイルス感染が判明し、延期されていたから。

白熱の試合

バスケットボール

バスケットボールの試合は中央体育館で行われた。筑波大は6月の関東大学新



相手選手をかわしゴールに迫る三谷(8月7日、中央体育館で) = 川上真生撮影

人戦準決勝で日本体育大に70-91で敗れていた。リベンジに燃えた筑波大だったが、第3クォーターに逆転を許し、69-79で敗れた。選手は新型コロナウイルス感染対策として、マスクを着用してプレーした。

第1クォーターは試合開始1分、浅井修伍(体専4年)のシュートが外れるも、リバウンドをキャプテンの中田高基(同4年)が奪って先制した。その後も得点を重ね、24-16とリードして第2クォーターへ。

開始1分に浅井修伍の弟の浅井英矢(同2年)がゴール下からシュートを決めると、同3分までに筑波大が3連続得点した。その勢いで、43-33とリード

を意図し、外側から3Pシュートを狙う作戦も功を奏した。残り3分40秒で三谷吉司朗(同3年)が3Pシュートを決め、67-67の同点に追いつく。しかし、その後は相手に連続ゴールを許し、69-79で敗戦した。

中田は「後半はシュートの成功率が上がらず、負けてしまった。しかし、コロナ禍で無観客の試合が多い中、一つ一つのプレーに観客の反応があり、やりがいを感じた」と話した。

日本体育大に惜敗

第3クォーターは、開始直後から相手に流れを奪われた。浅井修が立て続けに2ゴールを決めるなど反撃したが、20.6秒の身長を誇る日本体育大のムトンボジャンピエールにリバウンドをこごとく奪われ、50-55と逆転を許した。

第4クォーターの筑波大は、開始10秒で浅井英がシュートを決め、流れを取り戻した。長身のムトンボ

水球の試合は屋外プールで行われた。日本体育大は1998年から日本学生選手権で連覇を続けている強豪だ。序盤からリードを許した筑波大は、第3ピリオドで逆転したが、第4ピリオドで再び逆転を許し、12-15で敗戦した。

水球の試合は屋外プールで行われた。日本体育大は1998年から日本学生選手権で連覇を続けている強豪だ。序盤からリードを許した筑波大は、第3ピリオドで逆転したが、第4ピリオドで再び逆転を許し、12-15で敗戦した。

普段見られぬコラボも



演奏に合わせパフォーマンスをするアーティスト(8月7日、屋外プールで) = 小栗あおい撮影

「Bombers」のメンバーがコートの周りに立ち、ハリスを叩いたり振ったりしてバスケットを応援。観客もBombersのメンバーに合わせてハリスを動かして、会場の熱気が高まった。また第1、第2クォーター間には、ダブルダッチサークルの赤い布を1人ずつ持ち、ひらりと動かしながら泳ぎ、金魚を表現した。

ASの試合では道具を使わない。演技をした佐藤友花さん(体専3年)は「濡れた布を扱うのは難しかったが、道具を使うことで、祭りらしさや夏らしさを感じてもらえたかった。観客に楽しんでもらえて良かった」と振り返った。

運営メンバーと当日スタッフに、参加した経緯や思いを語ってもらった。

原動力になったのが「3月の第1回延期のリベンジがしたい」という思いだった。イベント当日、配置図のミスが見つかるなどのトラブルもあったが、「開催できてよかった。障害科の学を専門的に学んでおり、菊池さんは、自分たちで



前日リハーサルで指示を出す菊池さん(8月6日、中央体育館で) = 川上真生撮影

「制作進行」のチームを務めた菊池月さん(体専PI年)は、3月の第1回開催延期がショックだったという。「学群生時代は体操部員だったが、コロナ禍でイベントがほとんどできなかった。その分、どうしても成り上がったから、夏の開催に向けては、プロジェクトの進行を速めるため、運営チームの中で学を裁量を増やした。菊池さんは、自分たちで

「チームの認識」に話をした。水球は1チーム7人。15で敗戦した。水球は1チーム7人。15で敗戦した。水球は1チーム7人。15で敗戦した。

学生パフォーマンス

ホームゲームを盛り上げたのが、試合のオープニングやハーフタイムに繰り広げられた、有志学生や八つの学生団体によるパフォーマンスだ。

学生パフォーマンス

で集まった有志学生約20人が登場。軽快な曲に合わせて、夏のビーチなどをイメージしたダンスを披露した。ADのマスコットキャラクター「コスミック」も途中から加わった。

学生パフォーマンス

タイムアウト中は、アイドルコービーダンスグループがパフォーマンスを行った。

学生パフォーマンス

縦4枚、横6枚の紙の上に、太い筆で「飛翔」などを書き、その反動で水しぶきを飛ばすパフォーマンスを行った。

学生パフォーマンス

3人はメガホンを縦に持ち、そのまま水面で上下に動き、その反動で水しぶきを飛ばすパフォーマンスを行った。

学生パフォーマンス

稲生桜乃さん(障害2年)は「事務局・会場の会場担当スタッフとして、観

学生パフォーマンス

「制作進行」のチームを務めた菊池月さん(体専PI年)は、3月の第1回開催延期がショックだったという。「学群生時代は体操部員だったが、コロナ禍でイベントがほとんどできなかった。その分、どうしても成り上がったから、夏の開催に向けては、プロジェクトの進行を速めるため、運営チームの中で学を裁量を増やした。菊池さんは、自分たちで

学生パフォーマンス

作り上げたイベントを、観客が楽しんでくれてうれしかった。一方、「Summer Tuun」に「制作進行」の演者さんやダンスが苦手な学生も楽しく参加できるように考えた。地域の方々も巻き込んで一緒にパフォーマンスできるように話した。

学生パフォーマンス

「制作進行」のチームを務めた菊池月さん(体専PI年)は、3月の第1回開催延期がショックだったという。「学群生時代は体操部員だったが、コロナ禍でイベントがほとんどできなかった。その分、どうしても成り上がったから、夏の開催に向けては、プロジェクトの進行を速めるため、運営チームの中で学を裁量を増やした。菊池さんは、自分たちで

学生パフォーマンス

「制作進行」のチームを務めた菊池月さん(体専PI年)は、3月の第1回開催延期がショックだったという。「学群生時代は体操部員だったが、コロナ禍でイベントがほとんどできなかった。その分、どうしても成り上がったから、夏の開催に向けては、プロジェクトの進行を速めるため、運営チームの中で学を裁量を増やした。菊池さんは、自分たちで

学生パフォーマンス

「制作進行」のチームを務めた菊池月さん(体専PI年)は、3月の第1回開催延期がショックだったという。「学群生時代は体操部員だったが、コロナ禍でイベントがほとんどできなかった。その分、どうしても成り上がったから、夏の開催に向けては、プロジェクトの進行を速めるため、運営チームの中で学を裁量を増やした。菊池さんは、自分たちで



当日スタッフ

◆イベントの裏側見たい

張建国さん(人文P前期1年)は中国からの留学生。今年4月、筑波大に編入学イベント当日は受け付けを待つ人の整理を担当し、母語を生かして案内することもある。これまでも東京五輪などスポーツのボランティアの経験があり、「イベントの裏側を見たい」と。試合の様子を確認しつつ、トランシーバーで他のスタッフ

◆医療現場での経験生かす

中葵さん(看護3年)は今年4月、筑波大に編入学した。「他学類の学生と関わりを持ちたい」と当日スタッフに応募した。編入学前の5年間は看護師として勤務しており、当日は救護室の業務を担当した。試合の様子を確認しつつ、トランシーバーで他のスタッフ

ツクリエイト

「TSUKUBA LIVE!」のロゴやポスター、SNS(ネット交流サービス)のコンテンツなどは、芸術専門学群の学生有志が昨年結成したクリエイティブチーム「ツクリエイト」がデザインした。ポスターでは赤色、黄色、そして筑波大のサブカラーである「フューチャーブルー」の三色を使い、それぞれをバスケット、パフォー

デザインで後押し



「TSUKUBA LIVE!」のポスター=筑波大アスレチックデパートメント提供

学生有志が着たTシャツにもプリントされた。また、SNSコンテンツも充実させた。「TSUKUBA LIVE!」の公式インスタグラムでは「マンガライブ」と題し、選手紹介や競技のルール説明をマンガ形式で投稿した。イベントの特設ウェブサイトに「バスケの推し選手診断」を掲載した。利用者は、「好きな食べ物」「最初に食べる」「か」「最後に食べる」のかなど表示される六つの質問に答える。選手もあらかじめ同じ質問に答えており、一致数が最も多い選手が「推し」と診断される。

試合中に流れる音楽も、ツクリエイトが作曲した。攻守の反転時や得点時用など10種類が作られた。攻撃

Hello! 先端研究



鶴田文憲助教

自閉スペクトラム症(ASD)は、発達障害の一つだ。コミュニケーションが苦手や、こだわりが強いなどの特徴を持つ。発症率は約100人に1人で、脳機能障害が原因だとされる。発症リスクを高める遺伝子(責任遺伝子)の変異は数多く見つかっているが、それらの変異がASDをもたらすメカニズムはよく分かっていない。

鶴田助教はこれまで、

ASD発症の仕組みに迫る

小胞体ストレスが引き金か

USP15と呼ばれるASD責任遺伝子の研究に取り組んできた。USP15を動かなくしたマウスの脳にある物質を調べる中で浮かんたASD関連物質がHevinだ。Hevinは、神経細胞のシナプス結合を増強する働きを持つたん

白閉スペクトラム症(ASD)は、発達障害の一つだ。コミュニケーションが苦手や、こだわりが強いなどの特徴を持つ。発症率は約100人に1人で、脳機能障害が原因だとされる。発症リスクを高める遺伝子(責任遺伝子)の変異は数多く見つかっているが、それらの変異がASDをもたらすメカニズムはよく分かっていない。

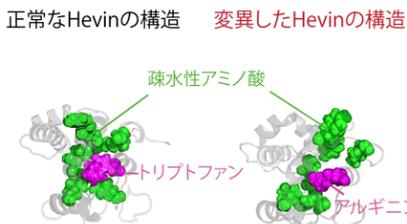
白閉スペクトラム症(ASD)は、発達障害の一つだ。コミュニケーションが苦手や、こだわりが強いなどの特徴を持つ。発症率は約100人に1人で、脳機能障害が原因だとされる。発症リスクを高める遺伝子(責任遺伝子)の変異は数多く見つかっているが、それらの変異がASDをもたらすメカニズムはよく分かっていない。

白閉スペクトラム症(ASD)は、発達障害の一つだ。コミュニケーションが苦手や、こだわりが強いなどの特徴を持つ。発症率は約100人に1人で、脳機能障害が原因だとされる。発症リスクを高める遺伝子(責任遺伝子)の変異は数多く見つかっているが、それらの変異がASDをもたらすメカニズムはよく分かっていない。

白閉スペクトラム症(ASD)は、発達障害の一つだ。コミュニケーションが苦手や、こだわりが強いなどの特徴を持つ。発症率は約100人に1人で、脳機能障害が原因だとされる。発症リスクを高める遺伝子(責任遺伝子)の変異は数多く見つかっているが、それらの変異がASDをもたらすメカニズムはよく分かっていない。

白閉スペクトラム症(ASD)は、発達障害の一つだ。コミュニケーションが苦手や、こだわりが強いなどの特徴を持つ。発症率は約100人に1人で、脳機能障害が原因だとされる。発症リスクを高める遺伝子(責任遺伝子)の変異は数多く見つかっているが、それらの変異がASDをもたらすメカニズムはよく分かっていない。

変異したHevinの疎水コアは崩壊している



(鶴田助教への取材を基に作成)

伝子解析データベースで、EFハンドモチーフの領域内でHevinの変異例がないか探した。すると、Hevinを構成する647番目のアミノ酸がトリプトファンからアルギニンに置き換わっている例(Hevin W647R)が見つかった。この変異体のHevinを培養細胞に入

外へ分泌がされにくくなる。今回の研究論文の筆頭著者、武富巧さん(HB P2年)は「今後は変異したHevinが神経活動や炎症応答に与える影響などを調べたい」と話す。また、鶴田助教は「Hevinに変異があるマウスを使い、ASDのような症状を示すかどうか解析したい」と今後の展望を語った。(高元愛香 心理学類2年)

手紙

読者の皆様、ススキが風になびく季節となりました。いかがお過ごしですか。私の卒業後の進路はそれほど波乱に富んだものではないと思いますが、珍しい部分もあるのでは、ご紹介いたします。

私は1982年、「遺伝子工学をやりたい」と考え生物学科に入學しました。しかし、せっかく生物学科にいるのだからと、3年生の夏休みのおうち1カ月を、筑波大の生物研究の拠点である下田(静岡県下田市)や菅平(長野県上田市)で、生物の採集と観察をする実習で過ごしました。



国立科学博物館 植物研究部長 筑波実験植物園長 細矢 剛 さん

細矢 剛 さん

民間企業で16年も過ごした人間がアカデミアの世界に戻るのには珍しいと思いますが、その間の経験やいろいろな人との出会いが私の財産となっています。今日、社会では多様性が重視されており、国連の持続可能な開発

最後に、筑波実験植物園は、学園東大通りを挟んだ向かい側です。筑波大生は無料です。ぜひお越しください。また、生物に限らず、情報系でもアルバイトの機会(テーブルス関係など)がありますよ。(昭和60年度生物学類卒)

主催者の声

「TSUKUBA LIVE!」を企画・統括したADの米原博章スポーツ部の形はとも単純ですが、分類では、そこからいろいろな情報を「読み取り」ます。スケッチでは線一本の違いでも、胞子などの形成過程では、重要な違いとなる場合があります。

研究が盛んでした。製薬会社ではそのままカビの研究を続け、幸いなことに論文博士で学位をいただきました。しかしその後、探索研究が下火になると、本社の製品戦略部に配置



米原博章 SA

「コロナ禍以降、大学が開催する公式イベントで学群や学年関係なく、学生が楽しめるイベントはあまりなかった。入学時からコロナ禍の影響を受けてきた学生が多いと思うが、「TSUKUBA LIVE!」を通じて、大学のにぎわいを感じてもらえれば幸いです。

「大学のにぎわい創出」 イベントは始まったばかりで、認知度はまだまだ低い。「日本」が一番スポーツを楽しむ大学に向けて、今後も継続していきたい。「TSUKUBA LIVE!」は学生と一緒に作り上げていくもの。本気でチャレンジしたい人がいたら、ぜひADに声を掛けてほしい。

人生も生物も多様性は宝

菌類の魅力にハマった私は、故・橋啓介名誉教授の研究室で大学院の修士相当までを過ごした。製薬会社に就職しました。当時、製薬会社では微生物からの薬の探索

転換となり、カビとは一切関係ない、糖尿病薬の開発・販売戦略に携わることとなりました。まるで転職したように思ったもので

微生物から薬の探索で2004年に国立科学博物館に転職しました。製薬会社では微生物からの薬の探索で2004年に国立科学博物館に転職しました。

最後に、筑波実験植物園は、学園東大通りを挟んだ向かい側です。筑波大生は無料です。ぜひお越しください。また、生物に限らず、情報系でもアルバイトの機会(テーブルス関係など)がありますよ。(昭和60年度生物学類卒)

競泳インカレ 間島は100平で初優勝 飯塚 100バタフライ2連覇



100平泳ぎで初優勝した間島(8月29日、東京辰巳国際水泳場で)

【東京辰巳国際水泳場(東京都江東区)で及川千翔II人文学類3年、写真も。12面に関連写真】競泳の大学日本一を決める日本学生選手権(インカレ)が8月28、31日に行われた。女子100バタフライでは飯塚千遥(体専4年)が58秒40で同種目2連覇。男子100平泳ぎでは間島亮太郎(同4年)が1分00秒00で初優勝を果たすなど、筑波大は計9種目で12人が入賞した。総合成績は男子が7位相当、女子が8位相当だったが、学校対抗の対象外の「個人参加校」としての出場だったため、8位までで与えられる来年度のインカレ団体出場権は獲得できなかった。

水泳競技

女子

30日の100バタフライ予選、飯塚は59秒11で1位タイ通過した。決勝は前半50秒を3位で折り返したが、後半は持ち前の追い上げを見せ、58秒40で2連覇を果した。

飯塚は「2連覇は目標であり、周りから期待されていたので達成できて良かった。予選で感覚をつかみ、決勝も焦らず自分のレースができた」と語った。

初日の28日は、50自由形決勝で土井香凛(同3年)が6位、込山暉(同4年)が7位とチームを勢いづけた。

同日の準決勝は明治大を14-8で下して決勝に駒を進めた。決勝の相手となった日本体育大との対戦は今季4度目。5-6月の関東学生リーグ戦の予選、決勝と8月に行われた「TSUKUBA LIVE!」では全て敗れていた。また昨年の日本選手権初戦では、10-11で惜敗していた。

試合開始16秒、日本体育大の畑翔太郎に先制点を許すと、同51秒には世界選手権日本代表の日本体育大、荻原大地にもシュートを決められた。

2点を追う筑波大は同2分33秒に、同じく世界選手権代表でキャプテンの眞板修貴(体専4年)が1点返すも9-7で逆転勝ちした。

3年連続で準優勝 25連覇の日本体育大に敗れる 水球インカレ



キャプテンの眞板=水球部提供

【6、7面参照】水球の大学日本一を決める日本学生選手権(インカレ)が8月30日、9月1日、横浜国際プール(横浜市都筑区)で開かれた。1日の決勝で日本体育大と対戦した筑波大は11-24で敗れ、2020年から3大会連続で準優勝となった。日本体育大は25連覇で46回目の優勝を果たし、強さを見せつけた。(及川千翔)

水泳競技

男子

29日の100平泳ぎ予選では、間島が自己ベストを0.32秒更新する59秒90を記録。2位に0.69秒差をつけ、予選を1位通過した。決勝でも1分00秒00で初優勝を飾った。筑波大の競泳男子で個人種目優勝は14年ぶりだった。

大学入学後、着実にタイムを縮めてきた間島。昨年のインカレ同種目では表彰台まであと0.13秒の4位で苦杯をなめた。間島は「決勝では、東京五輪代表で慶應義塾大の左藤翔馬選手など小学生の頃から憧れた選手と同じレースを泳げて良かった。今大会で引退したが、大学最後に優勝できてうれしい」と話した。

記者の目

28日の50自由形決勝は岩崎世那(同3年)が22秒62で4位に入り、30日の400メドレーリレー決勝は5位入賞した。31日の100バタフライ決勝は三浦玲央(同3年)が55秒03で3位となった。

観客席で見守る部員に向けて、プールから手を振った。ガッツポーズをしたりする選手たち。部員は応援用のスティックバルーンを振って応援する。筑波大の戦いぶりを見て、チームのまとまりを感じた。

実は筑波大は今大会、団体出場校として戦うことができない状況で試合に臨んでいた。コロナ感染者が出たことで、昨年8月の関東学生選手権(関カレ)を欠場。関カレでの得点が足りず、今年度は日本水泳連盟学生委員会の関東支部1部

から2部に降格したからインカレでは男女それぞれ、団体出場したチームの総合8位以内だが、シード校として翌年度の団体出場権を得る。

だが、2部所属チームにはそもそも団体出場権がない。だから、好成績を収めても、翌年のシード獲得にはつながらない。

シード校には、プールサイド近く応援席が割り当てられ、選手の控室に専用

スポーツ顔

卓球

ラリーの中で相手にわざと強打させるような展開を作り、その球の勢いを利用して強く打ち返すカウンター攻撃が得意だ。卓球を始めたころから変わらぬこのラリースタイルで、春季関東学生リーグ戦では、最優秀新人賞を獲得した。

5歳で卓球を始めた。6歳上の兄が通うクラブチームの練習を見て「速いテンポでラリーが続くところや球の速さ」に魅入られた。小学生になる

と平日3時間、休日6時間の練習を積み重ね、4年生で日本選手権カブの部(小学4年生以下)3位、6年生で世代別日本代表に選出された。

卒業後は、地元大分県の本選手権で対戦することになった。今度こそ勝つたいと意気込んだ。

から2部に降格したからインカレでは男女それぞれ、団体出場したチームの総合8位以内だが、シード校として翌年度の団体出場権を得る。

だが、2部所属チームにはそもそも団体出場権がない。だから、好成績を収めても、翌年のシード獲得にはつながらない。

シード校には、プールサイド近く応援席が割り当てられ、選手の控室に専用

スペースが設けられるなど、その特典は大きい。それでも筑波大の選手たちは、シード権獲得に相当する成績を目指した。結果は男子が7位相当、女子が8位相当と目標を達成し、それぞれ昨年の11位、9位から順位を上げた。

角川隆明ヘッドコーチ(体育系・助教)は「特に男子の伸びは、かなり評価できる」と話す。

逆境バネに躍進

昨年10月に新チームが発足。男子主将になった小林拓(体専4年)は「目標をどう定めるか悩んだが、どんな困難にも『いけない』の思いから『不撓不屈』をチームスローガンにした。部としても『やっやあぞ』と前向きになった」と語る。

今年4月に1年生12人が入部。「種目数が多い自由形」の伸びは、かなり評価できる」と話す。

角川コーチは「選手一人一人が力をつけたことで、例年の結果につながった。例年より選手のレベルも高く、今大会に調子を合わせ

形を専門とする選手が多くなり、学年を超えて競い合う場面が増えた。部の雰囲気も明るくなり、練習でのパフォーマンスも上がった」と角川コーチは振り返る。

インカレ直前の関カレでは男女とも2部で総合優勝し、自己新を出した選手も多くいた。

角川コーチは「選手一人一人が力をつけたことで、例年の結果につながった。例年より選手のレベルも高く、今大会に調子を合わせ

形を専門とする選手が多くなり、学年を超えて競い合う場面が増えた。部の雰囲気も明るくなり、練習でのパフォーマンスも上がった」と角川コーチは振り返る。

インカレ直前の関カレでは男女とも2部で総合優勝し、自己新を出した選手も多くいた。

角川コーチは「選手一人一人が力をつけたことで、例年の結果につながった。例年より選手のレベルも高く、今大会に調子を合わせ

形を専門とする選手が多くなり、学年を超えて競い合う場面が増えた。部の雰囲気も明るくなり、練習でのパフォーマンスも上がった」と角川コーチは振り返る。

インカレ直前の関カレでは男女とも2部で総合優勝し、自己新を出した選手も多くいた。

角川コーチは「選手一人一人が力をつけたことで、例年の結果につながった。例年より選手のレベルも高く、今大会に調子を合わせ

形を専門とする選手が多くなり、学年を超えて競い合う場面が増えた。部の雰囲気も明るくなり、練習でのパフォーマンスも上がった」と角川コーチは振り返る。



春季関東学生リーグ戦最優秀新人賞 田原 翔太 (体専1年)

相手と対戦。シングルスダブルスともにリベンジを果たし、団体戦でベスト16に進出した。

2年生になると、コロナ禍で練習が3日に一回しかできない時期があった。しかし、空いた時間をムダにせず、練習の質を高めた。コート裏で練習を見ていたり、声を出して「ここ」「集中してやろう」などの声掛けをしたりして、チームの士気を高めた。コート裏で練習を見ていたり、声を出して「ここ」「集中してやろう」などの声掛けをしたりして、チームの士気を高めた。

からの投票でキャプテンに任命された。エースの練習に誰よりも集中して取り組む姿を見せたり、声を出して「ここ」「集中してやろう」などの声掛けをしたりして、チームの士気を高めた。

今年10月の全日本大学総合選手権では、シングルス・ダブルスともに優勝を狙う。そして、全日本選手権上位進出も見据えている。(藤岡遥菜II)

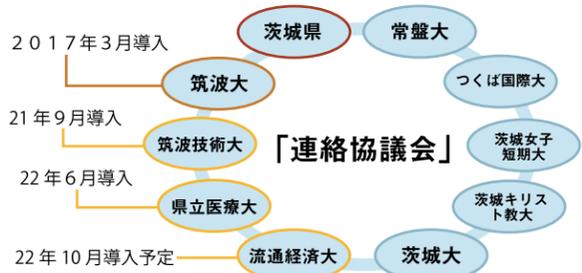
心技体そろえ日本の頂点へ

工学システム学類1年 写真は卓球部提供

将来は教員となり、卓球の指導に取り組みの夢だ。部活動をしながら教員を目指せることから、筑波大進学を決めた。高校まではチーム全体で同じ練習をしてきたが、大学では自分自身で課題を探し、自主的に練習に取り組んでいる。自身のプレーをビデオで分析したり、中国の選手を取り入れたらすることから始めた。現在はバックハンドの改善に取り組み。バックサイドに深く戻ってきたボールを強く打てる練習をしており、攻めの手段として使っていくたい」という。

今年10月の全日本大学総合選手権では、シングルス・ダブルスともに優勝を狙う。そして、全日本選手権上位進出も見据えている。(藤岡遥菜II)

茨城県と県内9大学の連携体制



- ・21年8月、12月に勉強会実施
- ・残りの5大学も22年度中のガイドライン導入を目指す

(取材を基に作成)

県は昨年8月、性的少数者の大学生の生活や就職活動の支援につなげるため、筑波大や茨城大など県内9大学と「連絡協議会」を結成した。

現在は、参加する9大学全てが性的少数者への対応方針を定めたガイドラインを導入することを目指して



性的多様性 SOGI/LGBT+ モデルケース

県は昨年8月、性的少数者の大学生の生活や就職活動の支援につなげるため、筑波大や茨城大など県内9大学と「連絡協議会」を結成した。

大学とも連携ガイドライン広げる 筑波大のノウハウ生かし

「下面参照」(いばらきパートナーシップ宣誓制度)の導入から3年余り。制度を持つ自治体数は23(2019年7月1日時点)から約10倍の224に増えた。茨城県は、県内の大学との連携も進めている。自治体が性的少数者への取り組みを拡大する意義と今後の展望、大学との関わりを考える。(天野幸太 後藤佳佳、高元聖香)

「未来社会デザイン棟」模型展示

宿舍建設に学生の声 生かす



進藤さん、藤本さん、増田さんが作成した「Planet Plaza」(7月29日、本部棟1階で)

学生有志が制作した「未来社会デザイン棟(仮称)」の設計図や模型が7月25日(8月5日、本部棟1階ホールラウンジ)に展示された。筑波大は2025~29年にかけて、宿舎リニューアルを計画している。未来社会デザイン棟は並列学生宿舎の共用棟の裏側部分に建設される予定で、23年の着工を目指す。今回の展示は、その計画開始にあたり、学生の意見を聞くために企画された。

(山田優真 写真)

同棟は、「学生同士のコミュニケーションの促進の場」「地域との交流の場」「企業との連携の場」「主体性・社会性を育成する場」「新たな発想を生み出す場」の五つをコンセプトとする。

今回の企画では、芸術専門学群や社会学部学位プログラムなどで建築を学ぶ有志学生4チーム計16人が出展した。凸凹した壁面が象徴的な建物や、夜道を照らすために道路沿いの壁面をガラス張りにした建物の模

型などが並んだ。進藤里沙さん(芸専3年)、藤本泰成さん(同)、増田胡桃さん(同)のチームは、筑波大生が集まる小惑星「をイメージし、「Planet Plaza」と題した模型を制作した。2階建てと4階建ての2棟が内側の広場を囲むようにし字型に建つ。リサイクルショップやレストラン、カフェやホテルなどを設置し、筑波大生の「衣食住」をサポートする。

カプセルホテルは自宅から通う学生が対象だ。提案した藤本さんは「普段は車で40分かけて大学に通っている。作品制作などで夜遅くなった時に泊まれる場所

が欲しいと考えたと話す。また、企業や地域の人を迎える場や学生同士の会話の場など用途に合わせた3種類のロビーを設けた。未来社会デザイン棟のコンセプトにある、地域や企業、学生同士の交流の場として機能することを狙った。

未来社会デザイン棟の設計は、外注する予定だ。学生部の藤元健史課長(プロシエクト推進担当)は、「夜道を照らすための設計やカプセルホテルなど、学生が気に掛けている点があった。良いアイデアは未来社会デザイン棟のみならず今後の宿舎リニューアル全体の参考にしていきたい」と語った。



ラヴィレット建築学校 (フランス)

櫻井藍花里

私は昨年10月からフランスのパリ・ラヴィレット建築学校に交換留学し、今年7月からはアフリカ西部に位置するベナンの建築事務所でインターンをしています。この留学を生かし、将来はアフリカ中央部にあるコンゴ民主共和国(以下コンゴ)で都市計画の仕事に取り組みつもりです。

コンゴはベルギーの旧植民地で、フランス語が公用語。植民地時代に建設された都市もフランスの影響を受けています。そのため、まずフランスで、不可分の関係にある建築と都市計画を学び、そこで勉強したことを実践するためにインターンを始めました。

コンゴは治安状況が悪く大学からの渡航許可が下りませんが、ベナンは生活環境が良く、ぜひこの機会にコンゴに行く予定です。その後、海外の大学院で発展途上国の都市計画を学び、将来の目標に少しずつ近づけていきたいと思います。(国際総合学類4年、写真は本人提供)



現在の私の仕事の一つは、料理の器として使われる乾燥ひょうたんを住宅内装材として利用する企画・提案です。ベナン人は木材を隣国のナイジェクトを進めているベナン人とコンゴ人のインターン生が引き継いでくれています。

アクセントが強いベナンのフランス語には慣れませんが、私と忍耐強くコミュニケーションを図ってくれる彼らのやさしさに助けられる毎日です。

大学卒業後は、留学の経験を生かし、2年ほどコンゴかその周辺国で働く予定です。その後、海外の大学院で発展途上国の都市計画を学び、将来の目標に少しずつ近づけていきたいと思います。(国際総合学類4年、写真は本人提供)

「婚姻の平等」議論進めて

性的少数者の権利保障のために自治体ができることは何か。婚姻の平等(同性間の婚姻の法制化)を目指す公益社団法人「Marriage For All Japan」結婚の自由をすべての人に」代表理事の寺原真希子弁護士に聞いた。

性的少数者は、人口の少ない地方では特に可視化されづらい。パートナーシップ制度を設け、自治体が存在を公認することには大きな意義がある。都道府県レベルで協力が進めば市民やメディアの注目も集まる。だが同制度に法的拘束力

はなく、婚姻による社会的承認と次元が異なる。国は自治体任せにせず婚姻の平等の議論を進めるべきだ。パートナーシップ制度以外で自治体ができることとして、地方議会から国会への意見書提出がある。選択的夫婦別姓を求める意見書は350件近く提出されているが、同性間の婚姻に関する意見書はほとんどない。動きの加速を期待する。

記者の目

「なぜ性的少数者の問題に関心があるの」と知人などから時折聞かれる。「当事者でもないのに」という問いが言外にある。だから派」とされる側が無関心な

せいで、問題の認知度が高まるはず、格差の温存につながっている。取材を通じてそう気づいたからだ。



寺原真希子弁護士(左)は、性的少数者の権利保障を訴えている。取材を通じてそう気づいたからだ。

中西教授(人社系) 横浜で講演



鳥瞰図の説明をする中西僚太郎教授(8月20日、神奈川県立歴史博物館で) = 及川千翔撮影

歴史地理学が専門の中西僚太郎教授(人社系)が8月20日、近代日本における鳥瞰図の系譜をテーマに神奈川県立歴史博物館で講演した。

中西教授は講演で、「実は2人の間に、松井天山がいる。明治期には松島真景図の作成に関与したとみられ、大正期には独自の画風を確立した」と解説した。

横浜市の70代女性は「元々地図に関心があり、真秀と初三郎は知っていたが、天山は初めて知った。講演を聞き、地図に一層興味が湧いた」と話した。(松村英美)

格差は、何気ない日常に散りばめられている。19年に茨城県のパートナーシップ制度利用第一号となった滑川友理・水戸市議は、友人から「夫の会社を配偶者枠で受けた」と聞き、婚姻関係との格差を感じたという。配偶者の扶養に入った場合の社会保険料免除や、会社が従業員の家

族向けに提供する健康診断は、限られた人の特権で、同性パートナーに提供されることは通常ない。

周囲にも、県の取り組みを知らない筑波大生はまだ多い。少しでも多くの人の関心を高めるため、今後も

に神奈川県立歴史博物館(横浜市中区)で講演した。同館で7~9月に開催された特別展「地図最前線」の地図からデジタルマップへ」に合わせた企画で、中西教授は50人の参加者を前に、日本三景の一つ・松島を描いた鳥瞰図が明治・大正期に多数作成されてきたことや、それは「松島真景図」と総称できることなどを紹介した。

近代によく作られた鳥瞰図は、鳥の視点で上空から地表を斜めに見下ろすように描いた地図。明治期には社寺や景勝地、温泉地などが描かれることが多く、観光案内や土産品の役割を果たした。

春日エリアに無人店舗 カップ麺や文房具 24時間買える



カップ麺や文房具、2リットルの飲料など120商品が陳列された棚(9月5日、春日エリアで)

カスミ(本社・つくば市西大橋)が運営する無人店舗「オフィススマートショップ(オフィススマ)」が9月5日、春日エリア(7B棟1階エントランス)と本部エリア(本部棟1階ホールラウンジ)に試験設置された。棟に入れる時間帯であればいつでも利用可能で、カスミの店舗と同価格で購入できる。春日エリアには売店がなく、近隣にコンビニエンスストアもなかった。

「オフィススマ」は茨城県 客は、専用アプリ「スキヤ」など63カ所に設置されている。春日エリアでは飲料や菓子、インスタント食品など120商品が二つの棚に陳列されている。利用

天野集太 写真も、12面に関連写真)

春日エリアへの設置は学生の要望で実現した。同エリアを利用する情報メディアや創成学類と知識情報・図書館学類の学生で構成するクラス代表者連絡会では、売店設置を求める声が長年上がっていたという。

歳森敦・図書館情報メディア系長が「オフィススマ」の存在を知り、図書館情報エリア支援室経由で学生生活課に相談したことが、設置のきっかけとなった。

カスミは今年8月、同エリアを利用する学生や教職員にアンケートを実施。そのニーズに合わせて販売商品を検討し、120商品のうち30品目を既定の物から変更した。

カスミの担当者は「宿舎が近く、生活に使う2分の水やお茶の要望が多かった。文房具の設置は学生生活で、今後も利用者の希望に合わせて商品を充実させていきたい」と語った。

この日初めて「オフィススマ」を利用した大学院生の男性は「研究室が春日エリアにある。夜遅くまで研究室に籠もる時もあり、とてもありがたい」と話した。

「オフィススマ」は11月末まで試用期間とし、利用状況などを見ながら設置の継続が判断される。

ホスターデザイン募集 開学50周年の周知に活用

筑波大は来年創設51周年開学50周年を迎える。その記念事業の一環として、この節目を学内外に広く周知するホスターのデザインを募集している。

記念事業スローガンは「DESIGN THE FUTURE, TOGETHER.」ともに拓く未来。イラスト、写真などホスターのデザイン手法は自由だが、このスローガンと筑波大が制作した「創基151年開学50周年記念ロゴマーク」を必ず入れる必要がある。

太田副学長は「この店舗は無人で、皆さんの信頼によって成り立つ」と適正な利用を呼び掛けた。

教職員、学生、地域住民など誰でも応募できる。応募点数の上限もなく、グループでの応募もできる。審査委員が応募作品の中から最優秀賞1点、優秀賞3点、入賞5点を決定し、それぞれ1万円、5000円、3000円の図書カードを贈る。結果は9月2日に開設された「創基151年開学50周年記念特設ウェブサイト」で11月(後其志II社会学類4年)に公開する。

入賞作品は記念事業の広報やPRのため、ホスターやウェブページなどで幅広く活用する。

応募締め切りは9月30日。広報局の担当者は「記念事業を多くの人に知ってもらう力をたくさん集まることを期待している」と話した。

詳しい応募要項は創基151年開学50周年記念特設ウェブサイトまで。(https://50th.projects.tsukuba.ac.jp/)

短期雇用の時給40円増 引き上げは5年連続

筑波大は10月1日から短期雇用の時給を引き上げ、時給引き上げは5年連続となる。筑波キャンパスなど茨城県内では40円増の920円に、東京キャンパスなど東京都内では30円増の1080円とする。

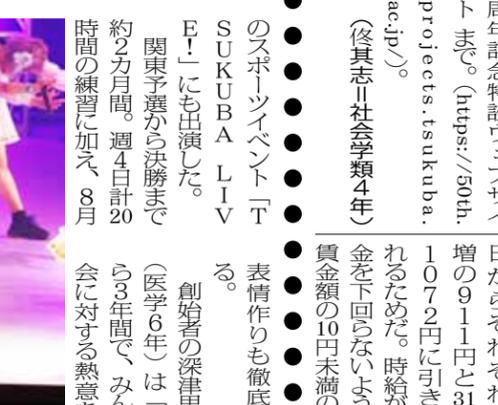
県と都の最低賃金が同日からそれぞれ、32円増の911円と31円増の1072円に引き上げられるため、時給が最低賃金を下回らないよう、最低賃金の10円未満の端数を雇用されている。

かける夏には、さまざまな色で構成される虹のように、みんな力を合わせて頑張っていきたいという思いを込めた。

決勝では全4曲を披露。4曲目「NIJII ROAD☆」(SUPER☆GIRLS)には、集大成らしい演出をほどこした。

序盤で初代リーダーの深津さんと2代目リーダーの幸坂優奈さん(応理4年)が順にセンターへ。中盤で初期メンバー、その舞台を見て入ったメンバー、2年生、3年生が順番に輪の中心に滑らかに入って踊る。

終盤では現リーダー松田さんがソロを務め、これまでのBombs!を振り返る構成にした。今大会は、深津さんにとってもBombs!にとっても、集大成の場になった。大会テーマに「Bombs!を創設から知る人にとって意味ある演出を目指した」と語



センターを飾る歴代リーダー。左から松田さん、深津さん、幸坂さん(8月21日、NHKホールで)

一方、教員の下で授業を支援するティーチング・アシスタント(TA)や、総合学域群の学生に学修法などを助言するラーニングサポーターは、非常勤講師と同様の雇用形態となる。TAの時給は1290~1600円、ラーニングサポーターは1290円~1470円となっており、引き上げはない。

筑波キャンパスの短期雇用の時給は昨年10月、県の最低賃金が879円に引き上げられたことを受け、880円に改定されていた。(勝山穂乃香II化学類1年)

もう一つの見どころは、Bombs!初の曲中での全身衣装替えだ。マジックテープと強力磁石を使い、1着目のトップスに2着目のスカートをはき込んだ。大会直前まで微調整を続けた。衣装班の中心メンバー、川端優梨さん(環科PI年)は「チーム一丸でステージを盛り上げるという思いがあったからこそできた」と話す。

今後は、新メンバーで挑む「UNIDOL 2022 Fresh」や、全体で参加する第48回筑波大学学園祭(豊峰祭)のステージが控える。「大好きなアイドルの曲をステージで踊ることを楽しんで」と、深津さんは後輩にエールを送る。日本一をつかんだ後も、Bombs!の爆風は止まらない。(中谷美稀II人文学類1年、写真も)

HPVワクチンセミナー 「当事者は私たち」

子宮頸がん(子宮)の原因となるウイルスの感染予防効果があるHPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチンの安全性や有効性を考えるセミナー「大事な子宮を守る」が、HPVワクチンキャッチアップ接種(ヒトパピローマウイルス)ワクチンが企画し、18人が参加した。

プログラム「T-FACT」の一環で、坂本菜生さん(看護3年)が企画し、18人が参加した。HPVワクチンは2013年4月、定期接種の対象となり、小学6年、高校1年の女性が無料で受けられるようになった。全身の痛みや疲労などの報告があり、接種を個別に案内する積極的勧奨が直後に中止された。

だが、今年4月、9年ぶりに再開された。症状と接種に因果関係は認められず、一方で接種の有効性を示すデータが集まった。この間に対象者の接種率は70%から10%未満に低下した。

セミナーは、将来のライフプランについて考えることから始まった。参加者は、自身のキャリアプランや結婚・妊娠の時期について考えた。その上で坂本さんたちは、ライフプランを大きく変えてしまう疾患として子宮頸がんを挙げた。

セミナー後半では、HPVワクチンのキャッチアップ接種が紹介された。ワクチン接種を逃した女性を救済するために設けられたと語った。

学生は「接種を受けた方が良い」と前から思っていたが、安全性や有効性がどの程度裏付けされているか知ることができ、参考になった」と語った。

(鳥崎翔II医学類5年)

「5面参照」日本一のチームになる!」1位で通過した「UNIDOL(ユニドル) 2022 Summer」関東予選の舞台で、リーダーの松田久良さん(体育専3年)が高々と宣言した。決勝戦の結果は有言実行の優勝。アイドルコンビダンスグループ「Bombs!」は全国の頂点に立った。

現在42人が所属し、36人が舞台に立つ。裏方のメンバー以外も、衣装製作や広報活動を行う。

Bombs!の活動の幅は広い。今夏はつくばセンター広場で開催された「つくばクラフトビアフェスト」や筑波大主催

初旬には3日間連続で1日9時間の集中練習もした。ダンスの細かな振りや角度まで考えられるよう、メンバー間で意見を出し合った。笑ったり驚いたり、曲に合わせた定した「#ぼむすと虹を



「知る」ことは、「守る」こと。子宮頸がん? 受けた方がいいの? HPVワクチンのキャッチアップ接種って何だろう? 今さら意味あるのかな? 将来についても考えてみたい!

【HPVワクチンプロジェクト】
テーマ: 大事な子宮を守る! ~HPVキャッチアップ接種~
日時: 2022年8月9日(火)18:00~17:00
開催方法: オンラインセミナー
対象者: 筑波大生

セミナーの告知ポスター。坂本さん(看護3年)が企画し、18人が参加した。HPVワクチンは2013年4月、定期接種の対象となり、小学6年、高校1年の女性が無料で受けられるようになった。全身の痛みや疲労などの報告があり、接種を個別に案内する積極的勧奨が直後に中止された。

「知る」ことは、「守る」こと。子宮頸がん? 受けた方がいいの? HPVワクチンのキャッチアップ接種って何だろう? 今さら意味あるのかな? 将来についても考えてみたい!

Who's Who?

エリート官僚から学生に

金井 達也 さん (国際日本研究P 後期2年)



フィリピンの子供たちと交流する金井さん(中央) = 本人提供。大学院進学を本格的に考えるようになった。

「日本に来てくれた外国人みんなを笑顔にしたい」
財務省を60歳で退職後の2020年4月、そんな思いを胸に、筑波大の博士課程大学院生として新たな人生のスタートを切った。計18年間の海外勤務を経験し、さまざまな国籍、国籍の人が互いに尊重し合いながら協力する「ダイバーシティ」

環境」の重要性を痛感したからだ。
現在は明石純一教授(人文学部)の研究室に所属し、日本にダイバーシティ環境を根付かせる第一歩として、コロナ禍における留学生の現状を研究している。

「浮かんたのは、精神面や経済面で悩みを抱える姿だ。」「部屋にやる気が出ない」「アルバイトがなくなった」などの声が寄せられ、研究が思うように進まないという訴えもあった。

外国人が笑顔で暮らせる社会に パワフルに学び深める 63 歳

「日本の外国人材のために貢献したい」という漠然としていた研究テーマを受け入れてくれたという。キャンパスの環境や社会人大学院生向けの制度が充実していたこともあり、筑波大入学を決断した。

研究や活動で常に意識しているのは、相手との文化の違いを理解し、寄り添うことだ。

フィリピンでは日本と異なり、多少の遅刻は問題としない文化がある。また、人前で怒ることも厳禁だった。それを知らなかった。「ダイバーシティ環境づくりには、相手の側から見る意識だと実感した出来事だった。」

「エリート官僚から大学院生に転身して3年余り。日本では、またダイバーシティ環境が実現できていない。実現のために、小さなことから自分ができることを見つけ、行動していきたい。」その意欲は勢いを増している。

こうして海外での豊富な経験をもとに、筑波大生向けの講演を行うことも多い。学生には海外で働くことは、難しいことではない。日本とは違う価値観との出会いも面白いなどと伝え、持った学生を増やして、筑波大や社会に貢献したい。からだ。

「NHKホールの大舞台で踊るBombers!のメンバーが輝いていました(5、11面)。大会前の練習も取材しました。3日間の集中練習(毎日9時間)の最終日でした。同じポーズを何度も繰り返す。指先までぞろぞろ。完璧に見えましたが、私たちの舞台。そんな結論に至りました。今号では、学生によるイベント(5面など)やTSUKUBA LIVE!の舞台裏(6、7面)に迫りました。本紙を通して、筑波大生の姿や思いを感じていただけたらうれしいです。(山田優芽)比較文化学類3年)

ウクライナの学生が表敬訪問



来日したウクライナ人学生10人と永田恭介学長ら(9月9日、本部棟で) = 寺尾優汰撮影

1面へ

学内総合

吹奏楽団定期演奏会



リハーサルで演奏する団員ら(8月24日、ノバホールで) = 太田碧撮影

5面へ

学芸

競泳 インカレ



女子100mバタフライを2連覇し、笑顔を見せる飯塚(8月30日、東京辰巳国際水泳場で) = 及川千翔撮影

9面へ

スポーツ

カスミ無人店舗 オープン



無人店舗で買い物する歳森敦・図書館情報メディア系長(中央)(9月5日、春日エリアで) = 天野隼太撮影

11面へ

学生生活

編集後記

その後も確認作業に追われる。明るい舞台で輝く学生と、パソコンの前で時が流れる自分たちを比べていまいた。それでも、記事が形になり、多くの人に見てもらえる達成感は大変、2人も大学で続ける理由の一つです。輝く舞台があったとしても、多くの努力があるのです。「新聞紙上」が私たちの舞台。そんな結論に至りました。今号では、学生によるイベント(5面など)やTSUKUBA LIVE!の舞台裏(6、7面)に迫りました。本紙を通して、筑波大生の姿や思いを感じていただけたらうれしいです。(山田優芽)比較文化学類3年)

次号は

11月4日(金)

発行予定です

印刷リフォーム
発行所 筑波大学
編集・発行
■筑波大学新聞編集委員会
▽委員長 逸村裕(図書館情報メディア系・教授)
▽副委員長 清水諭(体育系・教授)
▽委員 山田優芽(比較文化学類3年)、天野隼太(比較文化学類3年)、ほか編集部員18人